

演技 試験問題 (自己推薦 女子)

次の課題の詩(1)を解釈し、自分なりに、その詩を語る主人公を設定して演じなさい。
続いて、主人公の心境に一番あった歌(2)を、即興で振り付け歌いなさい。

(1) 主人公 できるなら

日々のくらさを 土の中のくらさに

似せてはいけないでしょうか

地上は今

ひどく形而上学的な季節

花も紅葉もぬぎすてた

風景の枯淡をよしとする思想もありますが

ともあれ くらい土の中では

やがて来る華麗な祝祭のために

数かぎりないものたちが生きているのです

その上人間の知恵は

触れればくずれるチューリップの青い芽を

まだ見えないうちにさえ

春だとも未来だともよぶことができるのです

(2) 設定した主人公の、心境に一番あった歌を、即興で振り付け歌う。(歌は即興の曲でも既成の曲でも可とする)

「見えない季節」牟礼慶子

—— 詩集『魂の領分』より

(制限時間 3分)